

用せせらぎ

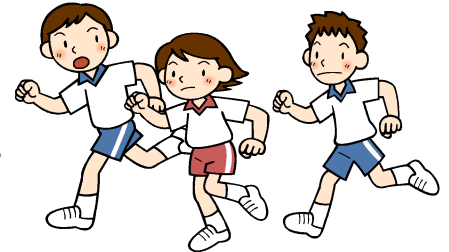
第20号

R3.12.8

学校目標 輝け！伊万里小

校長 長谷川 晃三郎

先週の土曜日は、校内持久走大会へ早朝からたくさん応援に来校して頂き、有り難うございました。11月中旬から昼休みのジョギングタイムや体育の授業などで練習を重ねてきました。その練習の成果を発揮し、最後まで粘り強く走ってくれたと思っています。



持久走はもちろん体力をつけることが一番の目的ですが、苦しい時に「もうやめたい、歩きたい」と思う自分の心に打ち勝つことで、精神力を鍛えることも大きな目的の一つです。転んでも起き上がってすぐに走り出す子供やゴールして起き上がれない程全力を出し切った子供達もいました。がんばり坂を上る時などに歩いてしまう子供はいましたが、それでもみんな精一杯がんばろうとしていました。ふざけたり、いい加減に走ったりする子供達は一人もいませんでした。すばらしい子供達です。

保護者の皆様からの声援は、子供達にとってとても大きな力になったと思います。あたたかいご声援、本当に有り難うございました。



実りの秋 part2



11月もいろいろな行事がありました。主なものを紹介します。

☆5年宿泊学習（11月11日）

雨と寒さが心配でしたが、予定していた内容を無事に終わることができました。雨は1日目に少し降りましたが、その都度天童岩まで行く予定をその手前までに変更したり、登山が予定より早く終わったため、ウォークラリーを組み込んだりして、いろんな体験を積むことができました。寒さも思っていたほどではなく、宿泊棟にこたつや暖房を入れてもらうことで十分対応することができました。



【登山 頂上付近にて】

1日目は登山の後、愛情いっぱいのおいしいお弁当を食べ、ウォークラリーを行いました。地図を見ながら協力して、元気いっぱいがんばりました。夕方食事と入浴を済ませた後、キャンドルの集いを行いました。

2日目は「わんぱく大冒険」では、グループで協力しながら楽しく活動しました。

感心したことが二つあります。一つ目は気持ちの良い返事です。誰が話していても返事をしながらしっかりと聞くことができます。黒髪少年自然の家の担当の人が「こんなに返事をしっかりできる学校は初めてです。」と感心されていました。二つ目は活気です。キャンドルの集いでは、どのグループも工夫を凝らし、すばらしい出し物を披露してくれました。



【キャンドルの集い 第2部】

☆日曜授業参観（11月14日）

たくさんのお保護者の皆様に参観していただき、有り難うございました。お子さんの活動の様子はいかがだったでしょうか。

6年生の授業参観は伊万里太鼓と鼓笛の発表を行いました。残念ながら運動場で実施することはできず、体育館で行いました。（他の学年の子供達には後日披露しました。）

伊万里太鼓は運動会の日披露できなかったため、太鼓の音に合わせて面浮立も踊りました。大分間があったので、どうかなと少し心配していましたが、さすが6年生、見事に踊りきりました。また、伊万里太鼓のすばらしい力強い演奏に合わせて踊る面浮立はまた格別でした。

鼓笛は「昨年の6年生に負けないぐらいの演奏をしたい。」という強い思いで朝や休み時間、放課後に練習を繰り返してきました。その思いがあふれ出る迫力のあるすばらしい演奏だったと思います。ご声援有り難うございました。（演奏の様子はケーブルテレビで放送される予定です。そちらの方も是非ご覧ください。）



☆6年修学旅行（11月25、26日）

コロナの影響で6月から11月に変更して行った修学旅行ですが、6年生の日頃のがんばりのおかげでしょう。好天に恵まれ、無事に終了することができました。

1日目は城山小学校で平和学習を行った後、平和公園でおいしい弁当を食べ、班別自主研を行いました。2日目は、グラバー園や出島資料館、長崎歴史文化博物館などクラスごとに見て回りました。

修学旅行でも6年の子供達は自主的に考えしっかりと活動していました。子供達には次の2点を伝え、褒めました。

①それぞれの役割を責任をもって果たしていたこと。

言われたことだけではなく、自分たちで工夫し自主的に行動する姿がとても印象的でした。

②話の聴き方や学ぼうとする姿勢がすばらしいこと。

学校で手本として行動していることをどこに行っても実践することができるすばらしい子供達です。真剣なまなざしや気持ちの良い返事、お礼の言葉の内容に感涙された語り部さんが、「伊万里小の子供達に会えて私が元気と勇気をもらいました。」と話をされ、とても嬉しかったです。



★6年分会行事（11月7日）

学校行事ではありませんが、「コロナ禍だからこそ子供達に楽しい思い出を」との思いで、6年分会と本会役員さんが協力して、「校内肝試し大会」を開催していただきました。

コースや人の配置、お化け役の衣装やコロナ対策等々入念な準備をして、迎えた当日子供や保護者の方々の悲鳴や歓声が鳴り響いていました。

次の日子供達は「怖かったけど楽しかった。」「あんなにお化けがリアルとは思ってなかった。」などロク々に楽しかった時間を振り返っていました。

本校育友会のすばらしさを改めて痛感させられました。



